



ZWILLING



ZWILLING



ZWILLING® ENFINIGY 53110-2

## 電気ケトルプロ 取扱い説明書

ツヴィリング J.A. ヘンケルス ジャパン株式会社  
ZWILLING J.A. HENCKELS JAPAN LTD.  
〒501-3911 岐阜県関市肥田瀬4064番地  
お客様相談係 0120-75-7155

## 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 注意事項は次のように区分していますのでご確認ください。

**⚠ 警告：**誤った取扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

### ❗ 指示

- 交流100V以外で使用しない（日本国内専用）。
- 電源プラグはコンセントにしっかりと差し込む。
- お手入れの際には必ず、電源プラグをコンセントから抜いて行う。
- 機械動作が通常とちがう場合や故障と感じたときには直ちに使用を中止する。

### 🚫 禁止

- 電源プラグや電源コードが傷んだり、ゆるいときは使用しない。
- 子どもの手の届くところに置かない。
- ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。

**⚠ 注意：**誤った取扱いをした場合、軽傷を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示します。

### ❗ 指示

電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って抜く、使用しないときには電源プラグをコンセントから抜く。液体物やほこりなどを電源プラグに付着させない。

### 🚫 禁止

- ケトルに水が入っていないときは、電源スイッチを入れない。
- 本製品はお湯沸かし専用です。
- 水質浄化剤や薬品をケトルの中に入れない。
- 付属の専用電源ベース以外は使用しない。
- ふたを開けたままお湯を沸かさない。
- 沸騰中や沸騰直後は、ふたを開けたり注ぎ口に触れない。蒸気にも十分注意する。
- 沸騰中はケトルを移動させない。
- 容量以上の水を入れない。吹きこぼれに十分に注意する。
- ケトルを水につけたり、水をかけたりしない。
- ケトルを倒したり、傾けたりしない。
- 直火の近くや、電磁調理器の近く、可燃物の近くで使用しない。
- 変色や変形を避けるため、部屋の壁や家具の近くで使用しない。
- 専任の技術者以外は分解や修理をしない。
- 本製品は家庭用のため業務用には使用しない。また屋内で使用する。

## 無料修理規定

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書に従った正常な使用方法で故障した場合において、本書記載内容に基づき、お買い上げ販売店が無料修理の対応をいたしますので商品と本保証書をご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

保証期間内でも次のような場合には有料修理となりますのでご注意ください。

- ① 使用方法の誤りや不当な修理による故障または損傷。
- ② お買い上げ後の落下、輸送などによる故障または損傷。
- ③ 火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
- ④ 業務用としての使用（一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷）。
- ⑤ 本書の提示がない場合や、本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合。
- ⑥ 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- ⑦ 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

## 保証書

持込修理

品 名	電気ケトルプロ		保証対象	本 体
保証期間	お買い上げ年月日より 1年間	お買い上げ日	年	月 日
★ お 客 様	ご芳名	店 名		
	ご住所	★ 販 売 店		
	お電話			

・この保証書は本書に明示した期間、条件をもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

・当製品の保証日にご記入いただいた、お客様の個人情報は、修理対応の際に使用します。それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

ツヴィリングJ.A.ヘンケルスジャパン株式会社 〒501-3911 岐阜県関市肥田瀬4064番地

## アフターサービスについて

### 1. 保証書について・・・・・・・・保証期間はご購入日より1年間です。

- 保証書はこの取扱説明書の表面ページに付いておりますので、必ず「販売店名」「ご購入日」が記入されていることをお確かめになり、保証内容をよくお読みになった後、大切に保管してください。

### 2. ご使用中に異常を感じたとき

- ご使用を中止し、ご購入販売店に点検・修理を依頼ください。お客様自身での修理は大変危険です。

### 3. 修理をご依頼されるとき

- 保証期間中はご購入の販売店に保証書を提示のうえ、お申し付けください。
- 保証期間が過ぎているときはご購入販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

### 4. 補修用性能部品の保有期間について

- 商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後5年としております。

### 5. アフターサービスについてご不明の点があるとき

- ご不明な点やご相談は、ご購入の販売店または当社サービスセンターへお問い合わせください。

### 6. 製品の廃棄について

- お住いの自治体が定めている内容を確認の上、廃棄してください。

## 修理のご依頼、お問い合わせ

ツヴィリング J.A. ヘンケルスジャパン株式会社  
家電製品サービスセンター

〒501-3911 岐阜県関市肥田瀬4064番地

0120-75-7155

受付時間 10:00～17:00（平日12:00～13:00、土・日・祝を除く）

## 各部の名称

### コントロールパネル表示部

4	.....	5
3	..... 60 70 80 90 100	6
2	.....	7
1	.....	8

1	電源スイッチ	5	80℃設定の湯沸かし
2	40℃設定の離乳食・ミルク温め	6	93℃設定の湯沸かし
3	60℃設定の湯沸かし	7	100℃設定の湯沸かし
4	70℃設定の湯沸かし	8	保温(30分間)

### 本体部

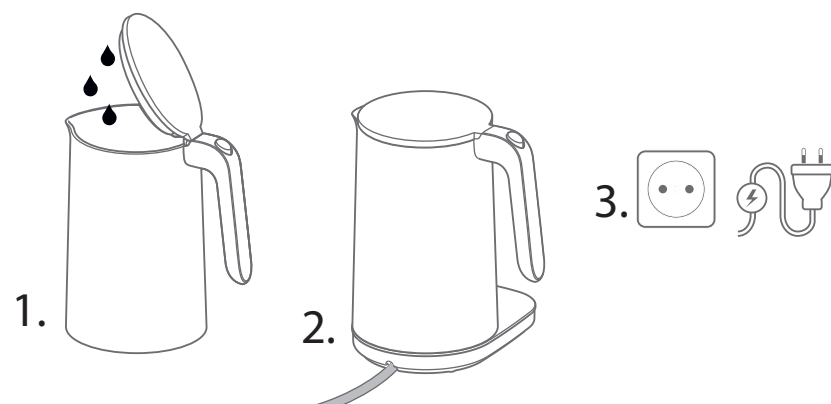


1	ふた	6	電源ベース
2	ふた開けボタン	7	コントロールパネル
3	ハンドル	8	ケトル
4	温度センサー	9	フィルター
5	電源コード		

## お湯の沸かし方

### ❶ご使用前の準備——電源を入れる

初めて使用する前に電源コードを完全にほどき、電源ベースの裏面の切り込みにセットしてください。ケトル内部は2、3回すすいでからご使用ください。  
電源を入れるには、コントロールパネルの電源スイッチを2秒間押してください。



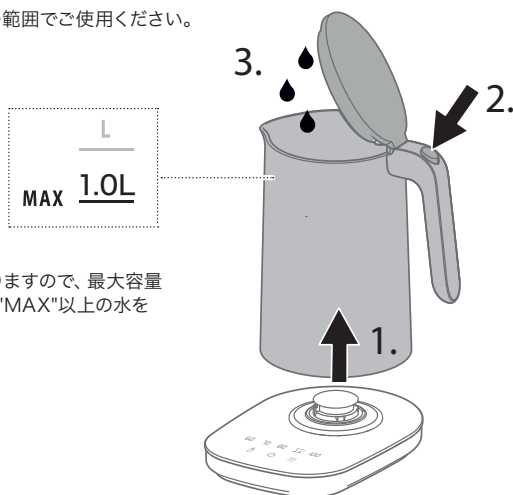
### ❷水を入れる

電源ベースからケトルをはずし、ふた開けボタンを押してふたを完全に開けた状態で水を入れます。ケトルの内側の計量メモリ（マーク）を目安に水を入れて完全にふたを閉めてください。  
水の容量は0.5～1.0Lの範囲でご使用ください。



#### ご注意

吹きこぼれの恐れがありますので、最大容量"1.0L"、内側計量マーク"MAX"以上の水を入れないでください。



## 故障かな?と思ったら

こんなときは	考えられる原因	対処方法
沸騰前に電源がオフになる	ケトルの水分量が足りない	ケトルの水分量は最低でも0.5L以上入れてください
	ケトル内側に汚れが付着している	お手入れ方法の手順に沿ってお手入れをしてください
お湯の沸き時間が通常より長い場合	ケトル内側に汚れが付着している	お手入れ方法の手順に沿ってお手入れをしてください
お湯沸きの温度が十分でない	選択したプログラムの間違い	選択したプログラムより温度が高いプログラムを選択し直してください
動作しない場合	ケトルが電源ベースにしっかりセットされていない	ケトルを再度、電源ベースにセットし直してください
	電源ベースの接点が汚れている	電源ベースの接点の汚れやほこりを取り除いてください
コントロールパネルが正しく反応しない	パネルの上に水がかかっている	水をふき取ってください

上記の対処をされても改善しない場合は、サービスセンターまでご連絡ください。

### 製品仕様

定格電圧/定格周波数	100V/50-60Hz
消費電力	1,000W
最大容量	1.0L
電源コードの長さ	70cm
全体サイズ（高さ×幅×奥行き）	243 X 200 X 204mm
質量	1.45kg

## お手入れ方法

### ケトル外側と電源ベース

適度に湿らせたやわらかい布で、ケトルと電源ベースをふき取ります。直接、流水をかけたりしないでください。また食洗機もお使い頂けません。

#### ご注意

お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いて、ケトルを冷ましてください。研磨剤、漂白剤や金属製のわしを使用しますと変色や傷の原因になりますので、ご注意ください。



### ケトル内側

ケトルの最大容量"1.0L"、内側計量マーク"MAX"まで水を入れ、酢を大さじ2杯程度、またはクエン酸20g程度を入れてかき混ぜます。コントロールパネルの100ボタンを選択して液体を沸騰させます。沸騰しましたら、ふたを閉めて約1時間置きます。約1時間後に液体を捨て、内部を水で十分にすすぎます。酢やクエン酸の匂いが残るようでしたら、水だけを入れて再度、沸騰させてください。

#### ご注意

傷を防ぐために、ケトル内側をお手入れする際には、やわらかいスポンジをお使いください。

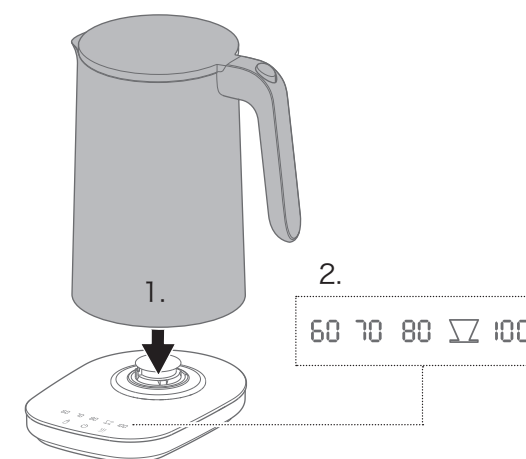


### ③お湯を沸かす

水を入れたケトルを電源ベースの上に、しっかりとセットします。お好みのプログラムを選択してスタートさせます。湯沸かし中、選択したプログラムのボタンが点滅します。

#### ご注意

危険ですので沸騰中は、ふたを開けないでください。

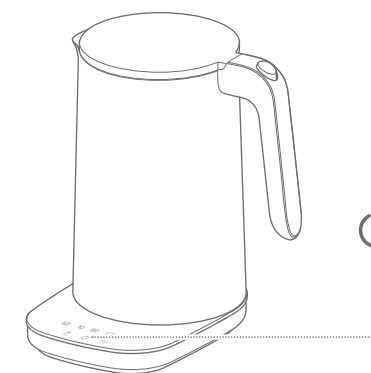


### ④沸騰の途中停止

沸騰を途中で停止したい場合は、電源スイッチを押すことで停止します。

#### ご注意

ケトルをベースから持ち上げても、沸騰は途中停止しません。



## 5 お湯を注ぐ

お湯が沸騰、もしくは設定温度に達しますと、選択したプログラムマークの点滅が止まり、音が鳴ります。電源ベースからケトルを外してから、お湯を注いでください。



### ご注意

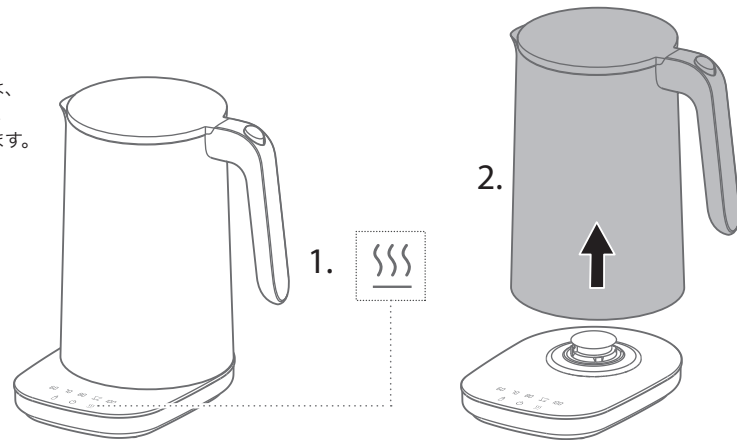
危険です。お湯を注ぐときは、ふたを閉めてお使いください。

## 6 保温機能

希望の温度を選択してから保温ボタンを押してください。設定温度に達した後に、最長で30分間保温されます。保温を終わらせたい場合は、保温ボタンをもう一度押すか、電源ボタンをオフにしてください。湯沸かし後保温する場合も、1. 希望温度、2. 保温ボタンを選びます。



100°Cの温度設定で保温ボタンを押した場合は、5分間沸騰を維持した後に安全のために保温終了します。



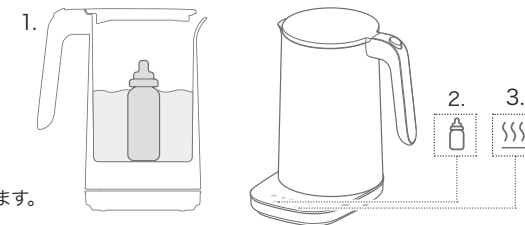
## 7 ミルクの温め

離乳食やミルクを適温に温めることができます。1. 瓶をケトルに入れ、瓶のふたの下まで水を入れます。2. 哺乳瓶ボタンを選択してから、保温ボタンを押します。3. 保温30分が終了したら、放置せずお湯から取り出してください。



### ご注意

ミルクや離乳食の量によって、温まり具合にムラがある場合があります。



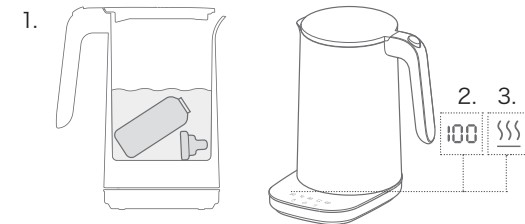
## 8 哺乳瓶の煮沸消毒

1. 哺乳瓶と付属品を別々に入れてから、ケトルに水を入れます。
2. コントロールパネルの100ボタンを選択し、続けて保温ボタンを押します。
3. 5分間沸騰が続き、終了するとプログラムのマークの点滅がやんで音でお知らせします。



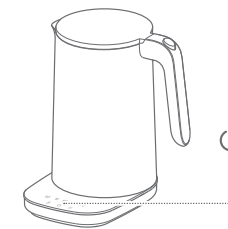
### ご注意

沸騰消毒のまえに、哺乳瓶や付属品は洗浄してください。



## 9 電源を切る

電源を切るには、コントロールパネルの電源スイッチを押してください。



### ご注意

哺乳瓶をご使用の際には、哺乳瓶メーカーの取扱説明書をよく読み、ご使用指示に従ってください。またご使用の哺乳瓶の耐熱温度も併せて、ご確認ください。ケトルの中は高温のため、哺乳瓶を取り出す際には、直接手でさわらず、 tongなどで取り出してください。